



AnyConnect Secure Mobility Client リリース 4.6 の機能、ライセンス、および OS

このマニュアルでは、AnyConnect Release 4.6 の機能、ライセンス要件、および AnyConnect 機能がサポートするエンドポイント オペレーティング システムについて説明します。

サポートされるオペレーティング システム

AnyConnect Secure Mobility Client 4.6 は、次のオペレーティング システムをサポートします。

オペレーティング システム	バージョン
Windows	現在の Microsoft Windows 10 x86 (32 ビット) と x64 (64 ビット) のバージョンのサポート Windows 8.1 x86(32 ビット)および x64(64 ビット) Windows 8 x86(32 ビット)および x64(64 ビット) Windows 7 SP1 x86(32 ビット)および x64(64 ビット)
Mac	macOS 10.11、10.12、10.13*、および 10.14 (64 ビット)
Linux	Red Hat 6 および 7 (64 ビット) Ubuntu 14.04 (LTS)、16.04 (LTS)、および 18.04 (LTS) (すべて 64 ビット)

* macOS 10.13 (High Sierra) で AnyConnect を使用するには、手動のプロセスに従って AnyConnect の完全な機能を活用する必要があります。AnyConnect 4.5.02033 では、手順を案内するために警告が表示されます。AnyConnect 4.5.02033 のインストール時には、このカーネル拡張を有効にする場合はセキュリティとプライバシーのシステム設定を開く必要があるという、「システム拡張機能がブロックされました (System Extension Blocked)」のメッセージが表示されます。このメッセージで [OK] をクリックすると、ウィンドウがポップアップで開き、システム拡張を有効にするために必要な注意についての詳細が示されます。このウィンドウでは、[設定を開く (Open Preferences)] を実行し、[セキュリティとプライバシー (Security & Privacy)] 画面でシスコのシステム ソフトウェアを [許可 (Allow)] することが求められます。

macOS 10.12 では、AnyConnect リリース 4.3.3086 および 4.2.6014 以降のリリースが必要です。

(注) シスコでは、現在 Windows XP 用の AnyConnect リリースをサポートしていません。

OS の要件およびサポート ノートについては、『[Release Notes for Cisco AnyConnect Secure Mobility Client](#)』を参照してください。ライセンス契約条件については、『[Supplemental End User Agreement \(SEULA\)](#)』を参照してください。発注の詳細と各種ライセンスに特有の契約条件については、『[Cisco AnyConnect Ordering Guide](#)』を参照してください。

AnyConnect モジュールおよび機能に適用されるライセンス情報およびオペレーティング システムの制限については、下記の機能マトリクスを参照してください。

AnyConnect 4.3(およびそれ以降)は **Visual Studio (VS) 2015** ビルド環境に移行しており、そのネットワーク アクセス マネージャ モジュールが機能するためには **VS** 再頒布可能ファイルが必要です。これらのファイルは、インストール パッケージの一部としてインストールされます。**.msi** ファイルを使用して、**4.3**(またはそれ以降)にネットワーク アクセス マネージャ モジュールをアップグレードできますが、最初に **AnyConnect** セキュア モビリティ クライアントをアップグレードし、リリース **4.3**(またはそれ以降)を実行する必要があります。

また、**AnyConnect Umbrella** ローミング セキュリティ モジュールの追加には、**Microsoft .NET 4.0** が必要です。

ライセンス オプション

AnyConnect セキュア モビリティ クライアント **4.6** を使用するには、**AnyConnect Plus** ライセンスまたは **AnyConnect Apex** ライセンスを購入する必要があります。必要なライセンスは、使用する予定の **AnyConnect VPN Client** および **Secure Mobility** の機能と、サポートするセッションの数によって異なります。これらのユーザベースのライセンスには、一般的な **BYOD** のトレンドに合わせたサポートとソフトウェア更新へのアクセスが含まれます。

AnyConnect 4.6 ライセンスは **Cisco ASA 5500** シリーズ適応型セキュリティ アプライアンス (**ASA**)、サービス統合型ルータ (**ISR**)、クラウド サービス ルータ (**CSR**)、および **Aggregated Services Router (ASR)** と、**Identity Services Engine (ISE)**、クラウド **Web** セキュリティ (**CWS**)、および **Web** セキュリティ アプライアンス (**WSA**) などのその他の非 **VPN** ヘッドエンドで使用されます。ヘッドエンドに関係なく一貫したモデルが使用されるため、ヘッドエンドの移行が発生した場合も影響はありません。

導入には次の **AnyConnect** ライセンスが 1 つまたは複数必要になる場合があります。

ライセンス	説明
AnyConnect Plus	PC やモバイル プラットフォーム (AnyConnect および標準ベースの IPsec IKEv2 ソフトウェア クライアント)の VPN 機能、 FIPS 、基本的なエンドポイント コンテキスト コレクション、 802.1x Windows サプリカント、および Web セキュリティ SSL VPN などの基本的な AnyConnect 機能をサポートします。 Plus ライセンスは、以前に AnyConnect Essentials ライセンスで提供されていた環境と、ネットワーク アクセス マネージャまたは Web セキュリティ モジュールのユーザに最適です。
AnyConnect Apex	クライアントレス VPN 、 VPN ポスチャ エージェント、統一されたポスチャ エージェント、次世代暗号化/ Suite B 、 SAML 、すべての Plus サービスと Flex ライセンスなどの高度な機能に加えて、すべての基本的な AnyConnect Plus 機能もサポートします。 Apex ライセンスは、以前に AnyConnect Premium 、 Shared 、 Flex 、および Advanced Endpoint Assessment ライセンスで提供されていた環境に最適です。
VPN のみ(永久)	PC およびモバイル プラットフォームのための VPN 機能、 ASA でのクライアントレス(ブラウザベース) VPN ターミネーション、 ASA にともなう VPN のみのコンプライアンスおよびポスチャ エージェント、 FIPS コンプライアンス、ならびに AnyConnect およびサードパーティ IKEv2 VPN クライアントでの次世代暗号化 (Suite B)をサポートします。 VPN のみのライセンスは、 AnyConnect をリモート アクセス VPN サービスのみに使用する必要があるものの、ユーザの総数が多かたり予測不能であったりする環境に最適です。 AnyConnect のその他の機能またはサービス (Web セキュリティ モジュール、 Cisco Umbrella ローミング、 ISE ポスチャ、ネットワーク 可視性モジュール、またはネットワーク アクセス マネージャなど)は、このライセンスでは使用できません。

AnyConnect Plus および Apex ライセンス

Cisco Commerce Workspace Web サイトから、サービス階層 (Apex または Plus) と期間 (1、3、または 5 年) を選択します。必要なライセンスの数は、AnyConnect を使用する一意のユーザまたは許可されたユーザの数に基づきます。AnyConnect 4.6 のライセンスは同時接続に基づいて付与されるものではありません。同じ環境に Apex ライセンスと Plus ライセンスを混在させることができ、ユーザごとに必要なライセンスの数は 1 つのみです。

AnyConnect 4.6 のライセンスをお持ちのお客様は、以前のリリースの AnyConnect もご利用になれます。

機能マトリクス

AnyConnect 4.6 のモジュールおよび機能と、最小リリース要件、ライセンス要件、およびサポートされるオペレーティング システムを次の項に示します。

- AnyConnect の導入および設定
- AnyConnect のコア VPN クライアント
 - コア機能
 - 接続機能および切断機能
 - 認証および暗号化機能
 - インターフェイス
- AnyConnect ネットワーク アクセス マネージャ
- AnyConnect Secure Mobility のモジュール
 - Hostscan およびポストチャ アセスメント
 - ISE ポストチャ
- カスタマー エクスペリエンスのフィードバック
 - カスタマー エクスペリエンスのフィードバック
 - Diagnostic and Reporting Tool (DART)
- AMP イネーブラ
- ネットワーク可視性モジュール
- Umbrella ローミング セキュリティ モジュール

AnyConnect の導入および設定

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
遅延アップグレード	ASA 9.0 ASDM 7.0	Plus	○	○	○
Windows サービスのロックダウン	ASA 8.0(4) ASDM 6.4(1)	Plus	○	×	×
ポリシー、ソフトウェア、プロファイル ロックの更新	ASA 8.0(4) ASDM 6.4(1)	Plus	○	○	○

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライ センス	Windows	Mac	Linux
自動更新	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
Web 起動 (32 ビット ブラウザのみ)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
事前展開	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
クライアント プロファイル の自動更新	ASA 8.0(4) ASDM 6.4(1)	Plus	○	○	○
AnyConnect プロファイル エディタ	ASA 8.4(1) ASDM 6.4(1)	Plus	○	○	○
ユーザ制御可能な機能	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×

AnyConnect のコア VPN クライアント

コア機能

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
SSL (TLS および DTLS) (アプライアンスごとの VPN を含む)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
TLS 圧縮	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
DTLS の TLS へのフォールバック	ASA 8.4.2.8 ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
IPsec/IKEv2	ASA 8.4(1) ASDM 6.4(1)	Plus	○	○	○
スプリット トンネリング	ASA 8.0(x) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
ダイナミック スプリット トンネリング	ASA 9.0	Plus, Apex, または VPN のみ	○	○	×
強化されたダイナミック スプリット トンネリング	ASA 9.8(2)	Plus, Apex, または VPN のみ	○	○	×
スプリット DNS	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
ブラウザ プロキシの無視	ASA 8.3(1) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
Proxy Auto Config (PAC) ファイルの生成	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
Internet Explorer のタブのロックダウン	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
最適ゲートウェイ選択	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
Global Site Selector (GSS) の互換性	ASA 8.0(4) ASDM 6.4(1)	Plus	○	○	○
ローカル LAN へのアクセス	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
同期化のためのクライアント ファイアウォール ルールによるテザー デバイスのアクセス	ASA 8.3(1) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
クライアント ファイアウォール ルールによるローカルプリンタのアクセス	ASA 8.3(1) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
IPv6	ASA 9.0 ASDM 7.0	Plus	○	○	×
さらなる IPv6 の実装	ASA 9.7.1 ASDM 7.7.1	Plus	○	○	○
証明書のピン留め	依存関係なし	Plus、Apex、または VPN のみ	○	○	○

接続機能および切断機能

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライ センス	Windows	Mac	Linux
クライアントレス接続と AnyConnect 接続の同時 使用	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Apex	○	○	○
Start Before Logon (SBL)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
接続時および切断時のス クリプト実行	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
接続時の最小化	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
起動時の自動接続	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
自動再接続(システムの一 時停止で切断、システムの 再開で再接続)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
リモート ユーザ VPN 確立 (許可または拒否)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
ログオン実行(別のユーザ がログインすると、VPN セッションを終了)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
VPN セッションの維持 (ユーザがログオフし、そ の後このユーザまたは別 のユーザがログインした 場合)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
Trusted Network Detection (TND)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
常時オン(ネットワークに アクセスするには、VPN を 接続する必要がある)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
DAP による常時オン除外	ASA 8.3(1) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
接続障害ポリシー(VPN 接 続に障害が発生した場合、 インターネット アクセス を許可または不許可)	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×
キャプティブ ポータルの 検出	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
キャプティブ ポータルの 修復	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	×

認証および暗号化機能

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
証明書のみ認証	ASA 8.0(4)	Plus	○	○	○
RSA SecurID/SoftID の統合	ASDM 6.3(1)	Plus	○	×	×
スマートカードのサポート		Plus	○	○	×
SCEP (マシン ID を使用する場合はポスチャ モジュールが必要)		Plus	○	○	×
証明書の一覧表示および選択		Plus	○	×	×
FIPS		Plus	○	○	○
IPsec IKEv2 の SHA-2 (デジタル署名、整合性、および PRF)	ASA 8.0(4) ASDM 6.4(1)	Plus	○	○	○
強力な暗号化 (AES-256 およびトリプル DES 168)		Plus	○	○	○
NSA Suite-B (IPsec のみ)	ASA 9.0 ASDM 7.0	Apex	○	○	○
CRL チェックの有効化	適用対象外	Apex	○	×	×
SAML 2.0 SSO	ASA 9.7.1 ASDM 7.7.1	Apex または VPN のみ	○	○	○
強化された SAML 2.0	ASA 9.7.1.24 ASA 9.8.2.28 ASA 9.9.2.1	Apex または VPN のみ	○	○	○
複数の証明書の認証	ASA 9.7.1 ASDM 7.7.1	Plus、Apex、または VPN のみ	○	○	○

インターフェイス

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
GUI	ASA 8.0(4)	Plus	○	○	○
コマンドライン	ASDM 6.3(1)		○	○	○
API			○	○	○
Microsoft コンポーネントオブジェクト モジュール (COM)			○	×	×
ユーザ メッセージのローカリゼーション			○	○	×
カスタム MSI トランスフォーム			○	×	×
ユーザ定義リソース ファイル			○	○	×
クライアント ヘルプ	ASA 9.0 ASDM 7.0	○	○	○	

AnyConnect ネットワーク アクセス マネージャ

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux	
コア	ASA 8.4(1) ASDM 6.4(1)	Plus	○	×	×	
IEEE 802.3 の有線サポート			○			
IEEE 802.11 の無線サポート			○			
事前ログオンおよびシングルサインオン認証			○			
IEEE 802.1X			○			
IEEE 802.1AE MACsec			○			
EAP メソッド			○			
FIPS 140-2 レベル 1			○			
モバイル ブロードバンドのサポート			ASA 8.4(1) ASDM 7.0			○
IPv6			ASA 9.0			○
NGE および NSA Suite-B	ASDM 7.0	○				

AnyConnect Secure Mobility のモジュール

Hostscan およびポスチャ アセスメント

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
エンドポイント アセスメント	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Apex	○	○	○
エンドポイント修復		Apex	○	○	○
検疫		Apex	○	○	○
検疫のステータスおよび中止メッセージ	ASA 8.3(1) ASDM 6.3(1)	Apex	○	○	○
HostScan パッケージの更新	ASA 8.4(1) ASDM 6.4(1)	Apex	○	○	○
ホスト エミュレーション検出		Apex	○	×	×
OPSWAT v4	ASA 9.9(1) ASDM 7.9(1)	Apex	○	○	○

ISE ポスチャ

機能	最低限の AnyConnect リリース	最低限の ASA/ASDM リリース	最低限の ISE リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
認可変更 (CoA)	4.0	ASA 9.2.1 ASDM 7.2.1	2.0	Plus	○	○	○
ISE ポスチャ プロファイル エディタ	4.0	ASA 9.2.1 ASDM 7.2.1	適用対象外	Apex	○	○	○
AC Identity Extensions (ACIDex)	4.0	適用対象外	2.0	Plus	○	○	○
ISE ポスチャ モジュール	4.0	適用対象外	2.0	Apex	○	○	×
USB 大容量ストレージ デバイス (v4 のみ) の検出	4.3	適用対象外	2.1	Apex	○	×	×
OPSWAT v4	4.3	適用対象外	2.1	Apex	○	○	×
ポスチャのステルス エージェント	4.4	適用対象外	2.2	Apex	○	○	×
エンドポイントの継続的モニタリング	4.4	適用対象外	2.2	Apex	○	○	×
次世代のプロビジョニングおよびディスクバリ	4.4	適用対象外	2.2	Apex	○	○	×

機能	最低限の AnyConnect リリース	最低限の ASA/ASDM リリース	最低限の ISE リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
アプリケーションの強制終了およびアンインストール機能	4.4	適用対象外	2.2	Apex	○	○	×
Cisco Temporal Agent	4.5	適用対象外	2.3	ISE Apex	○	○	×
強化された SCCM アプローチ	4.5	適用対象外	2.3	AC Apex および ISE Apex	○	×	×
オプション モードのポスチャ ポリシー拡張機能	4.5	適用対象外	2.3	AC Apex および ISE Apex	○	○	×
プロファイル エディタでの定期的なプロンプトの間隔	4.5	適用対象外	2.3	AC Apex および ISE Apex	○	○	×
ハードウェア インベントリの可視性	4.5	適用対象外	2.3	AC Apex および ISE Apex	○	○	×
非準拠デバイスの猶予期間	4.6	適用対象外	2.4	AC Apex および ISE Apex	○	○	○
ポスチャの再スキャン	4.6	適用対象外	2.4	AC Apex および ISE Apex	○	○	○
AnyConnect ステルスモード通知	4.6	適用対象外	2.4	AC Apex および ISE Apex	○	○	○
UAC プロンプトの無効化	4.6	適用対象外	2.4	AC Apex および ISE Apex	○	×	×

Web セキュリティ

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
コア	ASA 8.4(1)	Plus	対応 対応	○	×
Cloud-Hosted 設定	ASDM 6.4(1)				
セキュアな Trusted Network Detection	ASA 8.4(1) ASDM 7.0				
動的設定要素					
フェール クローズ/フェール オープン ポリシー					

AMP イネーブラ

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	最低限の ISE リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
AMP イネーブラ	ASDM 7.4.2 ASA 9.4.1	ISE 1.4	Plus	対応	対応	非対応

ネットワーク可視性モジュール

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	最低限の ISE リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
ネットワーク可視性モジュール	ASDM 7.5.1 ASA 9.5.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
データ送信レートへの調整	ASDM 7.5.1 ASA 9.5.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
NVM タイマーのカスタマイズ	ASDM 7.5.1 ASA 9.5.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
データ収集のブロードキャストおよびマルチキャストオプション	ASDM 7.5.1 ASA 9.5.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
匿名プロファイルの作成	ASDM 7.5.1 ASA 9.5.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
より広範囲なデータ収集とハッシュによる匿名化	ASDM 7.7.1 ASA 9.7.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
コンテナとしての Java のサポート	ASDM 7.7.1 ASA 9.7.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
カスタマイズするキャッシュの設定	ASDM 7.7.1 ASA 9.7.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応
定期的なフローレポート	ASDM 7.7.1 ASA 9.7.1	ISE 依存関係なし	Apex	対応	対応	対応

Umbrella ローミング セキュリティ モジュール

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	最低限の ISE リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
Umbrella ローミング セキュリティ モジュール	ASDM 7.6.2 ASA 9.4.1	ISE 2.0	Plus または Apex Umbrella のライセンスが必須	対応	対応	非対応

Umbrella のライセンスの詳細については、
<https://www.opendns.com/enterprise-security/threat-enforcement/packages/> を参照してください。

レポート モジュールおよびトラブルシューティング モジュール

カスタマー エクスペリエンスのフィードバック

機能	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
カスタマー エクスペリエンスのフィードバック	ASA 8.4(1) ASDM 7.0	Plus	○	○	×

Diagnostic and Reporting Tool (DART)

ログ タイプ	最低限の ASA/ASDM リリース	必要なライセンス	Windows	Mac	Linux
VPN	ASA 8.0(4) ASDM 6.3(1)	Plus	○	○	○
ネットワークアクセス マネージャ	ASA 8.4(1) ASDM 6.4(1)	Apex	○	×	×
ポスチャ アセスメント			○	○	○
Web セキュリティ			○	○	×

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. シスコの商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認ください。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスと電話番号は、実際のアドレスと電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド表示出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.